

事業所における自己評価結果(公表)

児童発達支援・放課後等デイサービス
2022.2.20 児童通所支援センターラブアリス東野幌

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準より多い人数配置で行えている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された空間になっているか。また、障がい特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○			集中しやすいよう個室を設けたり、掃除消毒を徹底している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1年に1度保護者アンケートを実施している。
	7	保護者等のアンケート調査の実施結果から保護者等の意向等を踏まえ、事業所として、この自己評価を行うとともに、その結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人内に内部監査室を設置し実施しております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			市内で行われる学習会に参加・社内研修を行っている。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールの見直しをしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日ミーティングを行い、プログラムが適正に行われているか話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の様子を把握し、飽きがこないよう常に見直しをしている。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			クッキング・工作などいつもと同じではないイベントを企画している。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			個々の状態を把握し、集団・個別を組み合わせ合わせた活動を考えている。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせの時間に注意事項の確認・支援方法の確認・役割分担をしている。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			詳細に記録し検証・改善に努めている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
	23	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	25	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			下校時間は全児童必ず確認している。
	26	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)、他の児童発達支援事業所等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等、小学校、特別支援学校(商学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか	○			
	28	学校を卒業し、事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象児童がいない。
	29	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			実際に来室していただき教えていただいたり、センター主催の学習会に参加している。
	30	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	感染症対策の為、今は一切行っていない。
	31	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			可能な限り参加している。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育での様子を詳細に伝え、利用児童の状況・課題について、今後の見通しを含めてお伝えし支援方法などを伝え話し合っている。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者様が相談しやすい環境作りに努めている。
保護者への説明責任等	34	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話・面談・連絡ノートにて相談・助言を行っている。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者参加型のイベントを企画していたが、感染症対策期間中の為行えていない。
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けている。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子をブログに上げたり、保護者様に伝えたほうが良い内容は、お手紙にてお渡ししている。
	40	個人情報に十分注意しているか	○			
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○			絵カード・ひらがな表等、必要なツールを使用し個々に必要と思われる配慮をしている。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		感染症対策として今は行えていない。

非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	46	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		○		身体拘束を行わないことを前提とし、緊急性、非代替性。一時性であることを条件に緊急止むを得ず行う際は記録に残し、保護者様には説明の上同意をいただいております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

【この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。